

ず じょう くん れん し な り お

図上訓練シナリオ

さいたまけんしょくりょうはん さ ぽ ー と げ ー む さいたますりーえす
埼玉県食料班サポートゲーム(埼玉SSS)



埼玉県のマスコット「コバトン」

彩の国



埼玉県

へいせい ねん がつ
平成25年1月

さい たま けん こう のす ほ けん しょ
埼玉県鴻巣保健所

目 次

1	はじめに	1
2	埼玉県食料班サポートゲーム（埼玉 SSS）の内容	1
3	訓練の場面設定	2
4	訓練の条件	3
5	訓練 1 備蓄食糧の確認・配給計画	6
6	訓練 2 備蓄食糧の配給準備 会場設営	8
7	訓練 3 配給	9
8	訓練 4 食料調達	10
9	訓練 5 食料受入	11
10	訓練ごとの振り返りシート	12
11	資料編	
	(1) 施設の開放から運営組織の設置、活動班での活動までの流れ	14
	(2) 避難所生活で配慮すること	15
	(3) 各活動班の役割	16
	①総務班 ②情報班 ③食料・物資班 ④施設管理班 ⑤保健・衛生班 ⑥ボランティア班	
	(4) 埼玉県食料班サポートゲームを開発しました	17

1 はじめに

このゲームは、東日本大震災後、災害時に備えた食環境整備を進めるに当たり、家庭での食料備蓄の普及啓発とともに、避難所運営が円滑に行われるための環境整備が必要と考え作成したものです。今回は、主に避難所での食料配給を中心とした模擬体験をすることで、参加した方々が、平常時にどのような取組が必要なのかを考える内容になっています。

避難所運営の一部ではありますが、防災に関心のある方、健康危機管理に携わる方等、さまざまな職種の方に、ぜひ一度体験していただき、内容を検証していただければ幸いです。

2 ゲームの内容

進行役1名、プレイヤー5~6名とし、進行役の朗読に続き、プレイヤーは、シナリオのセリフを読み上げます。食料の受入から配給までの、5つの場面について、役になりきって行動を検証します。1つの場面終了ごとに、進行役の指示に従って振り返りを行います。



構内図とプレイヤーコマ

◎ ゲームのポイント

プレイヤーの役割には、避難所自主組織で構成される総務班、食料班、ボランティア班員などが登場します。

より現実に近づけるため、避難所想定の小中学校構内図などは、参加者の身近な校舎を想定し、訓練することもよいでしょう。

プレイヤーは、与えられた登場人物のセリフを読み上げながら、自分のコマを行動に合わせて動かします。あまり考えずにセリフを言ってみましょう。

ゲーム終了後、活動内容や、動線、必要な物品などについて話し合い、食料配給を中心としたより円滑な避難所運営について検証します。



食料班のコマはピンク

3 訓練の場面設定

* 5つの場面について訓練を行います。発災後4日目食料受入までを想定。

<1日目>

訓練1 備蓄食糧の確認・配給計画

- 食料班員が、施設管理者に備蓄倉庫の場所と食料確認
- 総務班に避難者数、世帯数の確認をし、配給計画を立てる

訓練2 備蓄食糧の配給準備 会場設営

- 食料を配給会場まで運搬。
- 会場設営（一般食、アレルギー食）
- 配給時間案内掲示、アレルギーのある人の申出掲示

訓練3 配給

- 行列の整理 ボランティアへの誘導について指導
- 配給時の注意事項確認
 - ・配給時、名簿に地区、氏名、アレルギーの原材料について印をつけてもらう
 - ・食料調達のために把握する
- 配給

<3日目> 健康相談と疾病把握

訓練4 食料調達

- 一般食数と、アレルギー食対応食数の申請

<4日目>

訓練5 食料受入

- トラックが校庭に入ってくる
- 食料確認（賞味期限、中味、個数）
- 食料を保管教室へ搬入

4 訓練の条件 (被災状況など)

(1) 災害規模状況

- ・ 埼玉県内の A 市で震度 6 強の地震が発生
- ・ 発災時刻 平成 30 年 6 月 11 日(月) 午後 4 時 天候 晴れ
- ・ ライフライン 停電している。水・ガスは使用可能。
- ・ 建物が一部倒壊している。道路は一部通行可
- ・ 平日の昼間なので、生産年齢人口の人は、ほとんどいない。会社から到着できない。高齢者と乳幼児が避難所に集まってきた。

(2) 避難者名簿は、作成済みである。

(3) 体育館内の避難者配置も済んでいる。

(4) 備蓄食糧は、避難所に保管されている。

アルファ米 1,400 食、ビスケット 170 食、500ml ペットボトル 500 本

(5) 今回の指定避難所あたりの収容者数 253 人(小学校体育館)

<避難者内訳>

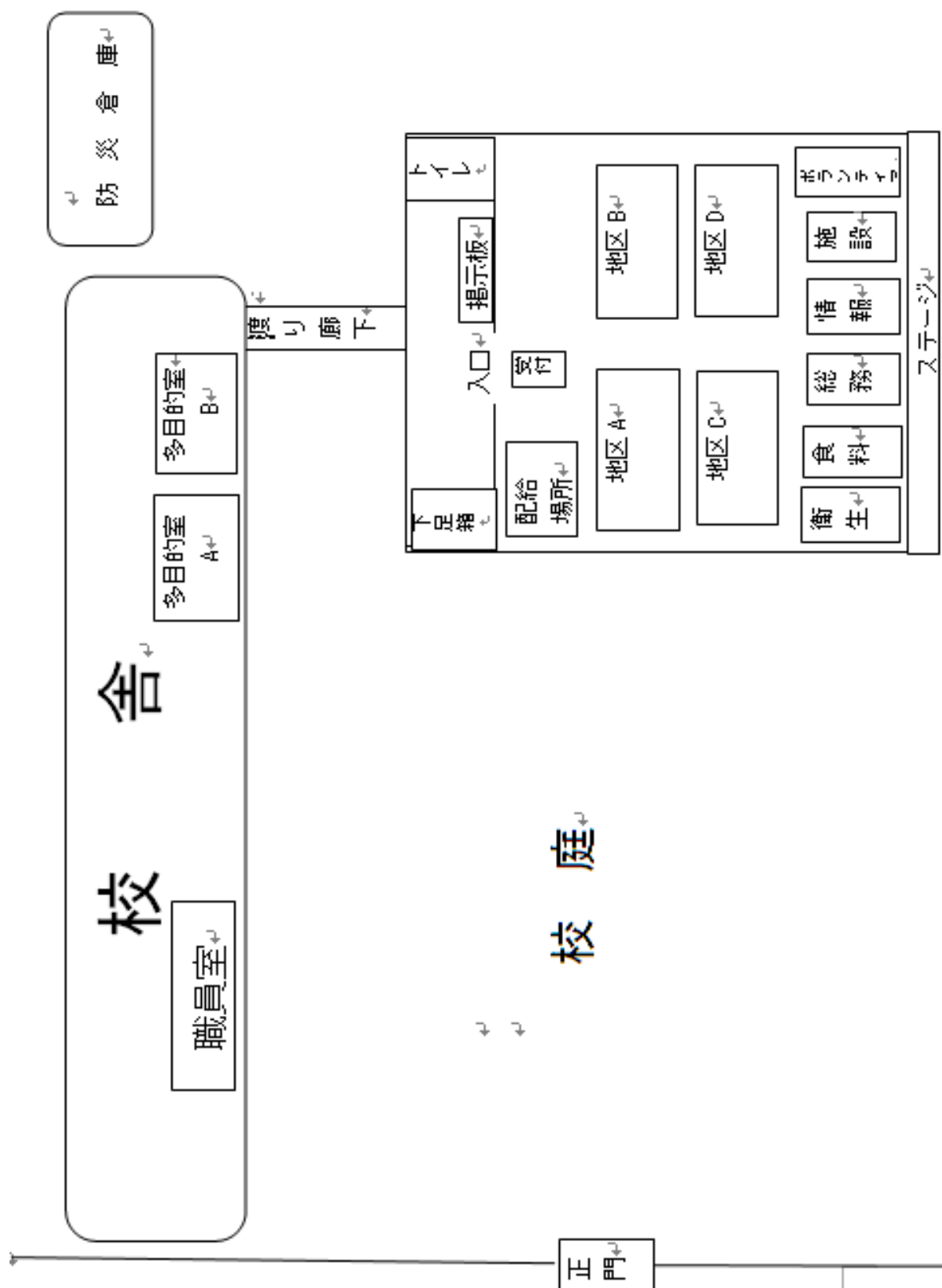
ア 災害時要援護者 (食事に配慮が必要な人)

- ・ 高齢者(65 歳以上) 糖尿病、高血圧等 120 人
- ・ 乳幼児 80 人 ・ 食物アレルギー児(卵) 3 人

イ 一般

- ・ 乳幼児の保護者 40 人 (主に母親)
- ・ 65 歳以上高齢者 病歴なし 10 人

避難場所 構内図 (イメージ)



役 割 表

役 割	人数				
食料班リーダー	1				
食料班員	4	A	B	C	D
施設管理者	1				
総務班	1				
ボランティア班リーダー	1				
ボランティア班	2	A	B		
トラック運転手	1				
避難者	1				
場面朗読	1				
記録(写真他)	1				

場面朗読者は、網掛け部分を読みます。

人数に合わせて、参加者氏名を記載します。

1人が複数担当も出来ます。

5 【 訓練 1 】 備蓄食料の確認・配給計画

* 場 景 発災後 1 時間半経過 午後 5 時 30 分

避難所が開設され、食料班リーダーが指名される

担当者	作業内容
食料班リーダー	<p>それぞれ自分の役割のコマを確認しましたか。 プレイヤーは、自分の役割のセリフを読み上げながら、行動に合わせてコマを動かしてください。 また、基本的に 2 人体制で行動しますので、食料班員の A さんと B さん、C さんと D さんは、特に指示がない限り、一緒に行動してください。 それでは、シナリオに添って順に進めていきます。</p> <p>私が、食料班リーダーに指名されました〇〇です。 この食料班の仕事は、避難している皆さんへ安全な食事を適切に提供することです。私も初めての経験ですが、このマニュアルを参考にしながら、皆さんと力を合わせてこの状況を乗り切りたいと思いますので、よろしく願いいたします。 まず、食料配給に必要な情報を集めましょう。 食料班員の A さんと B さん、備蓄食料の種類と数の確認をお願いします。</p>
食料班員 A、B	<p>わかりました。施設管理者の所へ行ってきます。 2 人は施設管理者のいる職員室へ移動します</p>
食料班リーダー	<p>C さんと D さん、総務班の所へ行行って、避難者の人数と世帯数を確認してきてください。</p>
食料班員 C、D	<p>わかりました。私達は、総務班の所へ行ってきます。 2 人は総務班の場所へ移動します</p>
食料班員 A (B 同行)	<p>私達は、食料班の A と B です。 食料の配給にあたり、防災倉庫の場所と食料の種類と数を教えてください。それから、<u>ベニヤ板と台車</u>を貸してください。</p>
施設管理者 * 避難場所が学校の場合 校長であることが多い 食料班員 B	<p>こちらに、構内地図があるので、確認してきてください。 鍵をお渡しします。</p> <p>わかりました。見てきます。 防災倉庫へ移動し、扉を開けて、食料を確認し、食料管理簿に必要事項を記入します * 媒体提示 「食料管理簿」 ◎この後、食料管理簿は、食料班が管理し、食料班設置場所に備えておきます。必要な時に持ち出します。</p>

食料班員 C (D 同行)	私達は、食料班の C と D です。食料配給にあたり、避難者数と、世帯員数を教えてください。
総務班	<p>わかりました。今、名簿を書いてもらったのですが、集計がまだ出来ていないので、少しお待ちください。</p> <p>15分経過しました お待たせしました。253人です。 <この時点では、食物アレルギーの把握は出来ていません></p>
食料班員 D (C 同行)	<p>ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。</p> <p>食料班員 A~D 全員が、食料班の持機場所に戻ってきました</p>
食料班リーダー	<p>お疲れ様でした。 では、それぞれ確認できたことを報告して下さい。</p>
食料班員 B	<p>備蓄食糧は、アルファ米 1,400 食、ビスケット 170 食、500ml ペットボトル 500 本でした。</p>
食料班員 D	<p>避難者数は、253 名でした。</p>
食料班リーダー	<p>お疲れ様でした。 避難者数、食料数が確認できました。 避難者は 253 名ということですから、今回の食事は、1 人あたり、アルファ米 1 袋、ペットボトルを 1 本ずつ配給しましょう。253 食に近い梱包数のアルファ米とペットボトルを持ってきてください。</p>
食料班員 A~D (一緒に)	<p>わかりました。</p> <p><4人で相談した結果、個別にばらさないで、段ボールのまま持つてくることにしました></p> <p>* 以上で、訓練 1 「備蓄食料の確認・配給計画」のシミュレーションは終了です。 それでは、それぞれの場面について、振り返ってみましょう。</p>

6 【 訓練 2 】 備蓄食料の配給準備・会場設営

* 場景：発災後 2 時間経過 午後 6 時 避難者は、所定の場所に落ち着いている。

担当者	作業内容
食料班リーダー	<p>それでは、配給準備を始めます。 AさんとBさんは、防災倉庫から、今回配給分の食料搬入をお願いします。 ボランティア班2名の方にも手伝ってもらってください。 残った人は、会場設営と、食料配給案内の掲示の準備をお願いします。</p>
食料班員 A、B (一緒に)	<p>わかりました。 ボランティア班の集まる場所へ移動します</p>
食料班員 B (A 同行)	<p>食料班員の A と B です。これから配給物資の搬入を行います。ボランティア班から 2 名応援をお願いします。</p>
ボランティア班 リーダー	<p>わかりました。ボランティアの A さん B さん、協力をお願いします。</p>
ボランティア班 A、B (一緒に)	<p>わかりました。よろしくをお願いします。</p>
食料班員 A	<p>では、倉庫のある場所へ行きましょう。 食料班員 A、B、ボランティア班 A、B は倉庫に移動し、食料を体育館に運びます 食料班員 A は食料管理簿に配給済みの食料数を記載します</p>
食料班員 C	<p>リーダー、配給場所は、こちらの体育館の端でいいですね。 体育館端のフロアを指さします 机を持ってきます。 長机 3 脚を、体育館ステージ裏から持ってきました 机が汚れているので、拭いた方がいいですね。</p>
食料班員 D	<p>リーダー、配給時間は、何時にしますか。</p>
食料班リーダー	<p>今 7 時ですから、30 分後の午後 7 時 30 分にしましょう。 食料班員 D は C と相談し、予め用意してあった広報媒体に、配給時間を記入して、情報班に依頼します 情報班は、全体掲示板と、トイレ前に掲示します * 媒体提示 ①「食料の配給について」 ②「アレルギー等食事の配慮が必要な方へ」</p>

7 【 訓練 3 】 配給

* 场景：今回は地区ごとに世帯代表者が食料を受け取りに行くことを想定。配給は体育館端で行う。

担当者	作業内容
食料班リーダー	<p>それでは、配給を始めます。</p> <p>Aさん、配給時に並び方を誘導する協力者として、ボランティア班から5名依頼してきてください。</p> <p>Bさん、Cさん、Dさんは食料の配給を始めてください。</p>
食料班員 (A~D) (一緒に)	<p>わかりました。</p> <p>食料班員 A はボランティア班の集まる場所へ移動します</p> <p>食料班員 B、C、D は、名簿、筆記用具を持って配給場所へ移動し、食料を渡しやすいようにセットします</p>
食料班員 A	<p>私は、食料班員の A です。これから食料の配給を始めますので、誘導のためのボランティア班から5名の応援をお願いします。</p>
ボランティア班 リーダー	<p>わかりました。ボランティアの A、B、C、D、E さん、協力をお願いします。</p> <p>*実際には5人いると仮定します。</p>
ボランティア班 (A~B、一緒に) 食料班員 A	<p>わかりました。よろしくお願いします。</p> <p>では、配給場所へ行きましょう。</p> <p>食料班員 A は、ボランティア班 A~E と共に、配給場所に戻り、受け取り案内と誘導方法について指示します</p> <p>順番の地区に声がけする時に、一度に皆さんが集まってしまうと、混乱しますので、<u>高齢者や乳幼児のいる家庭を配慮しながら、2列に並ぶように説明をお願いします。</u></p>
ボランティア班 (A~B、一緒に) 避難者 A	<p>わかりました。</p> <p>避難者が配給の列に並び始めました</p> <p>うちの子は、卵の食物アレルギーがあるのですが、この列に並んでいても大丈夫ですか。</p>
食料班員 C	<p>それでは、<u>こちらの名簿</u>に住んでいる地区名と名前を記入してください。また、食べられない食品名を選んで印をつけてください。今回お配りしたアルファ米のアレルギー表示については、袋の裏に書いてあります。確認をお願いします。</p> <p>* 媒体提示「アレルギー対応者管理簿」「食事配給個別対応者管理簿」</p>
避難者 A	<p>安心しました。ありがとうございます。</p> <p>その後、特に混乱もなく順番に食料を配給することが出来ました</p>

8 【 訓練 4 】 食料調達

* 場 景 : 発災後 3 日 目 健康相談が行われ、疾病把握が出来る。

担当者	作業内容
食料班リーダー	<p>健康相談が行われたので、食物アレルギーなどをお持ちの方の人数が把握できました。食料調達のための準備をしましょう。</p> <p>避難者 253 名のうち、食物アレルギーをお持ちの方は 3 名でした。原因食材は卵です。軟らかい食事が必要な人は 40 名います。</p> <p>災害対策本部へ、必要な食数を要請します。</p>
食料班員 B	<p>私が、食料供給要請書を書きます。</p> <p>* 媒体提示 「食料供給関係要請・受信票兼処理票」</p>
食料班リーダー	<p>そうですね。</p> <p>B さん、よろしくお願ひします。</p> <p>B さんが書いた書類は、情報班による連絡時に提出しました</p>

9 【 訓練5 】 食料受入 発災後4日目

* 场景：災害対策本部へ要請した食料が運ばれてくる。天気は晴れ。

担当者	作業内容
食料班リーダー	<p>トラックが校庭に入ってきました</p> <p>食料が届きました。 Aさん、Bさん受入をお願いします。 保管場所は、校舎の中にある多目的室AとBです。 Cさんは、保管する教室の状態を確認して、賞味期限別の仕切りをガムテープでしてきてください。運搬用の通路の確保もしてくださいね。 Dさんは、ボランティア班のところへ行って、5名の搬入の協力依頼をお願いします。</p>
食料班員 (A~D) (一緒に)	<p>わかりました。</p> <p>AさんとBさんは、校庭へ移動します Bさんは、食料管理簿を持って行きました Cさんは、保管教室である多目的室へ移動します Dさんは、ボランティア班の場所へ移動し、ボランティア5名の協力を依頼し、共に校庭へ移動します</p>
トラック運転手	<p>荷物はどこに下ろしますか。</p>
食料班員 A	<p>こちらの屋根のある渡り廊下へお願いします。 ボランティア班の方も協力をお願いします。 Bさん、食料管理簿に食料の種類、個数の記入をお願いします。 Dさん、段ボールの外側に、大きくマジックで食品名と賞味期限、個数を書いてください。 食料管理簿と、段ボールに記載が終わったものから、保管教室へ搬入をお願いします。</p> <p>それぞれ与えられた業務を行います ボランティアは保管教室へ物資を持って移動します</p>
ボランティア A	<p>これは、どこに運んだらいいですか。</p>
食料班員 C	<p>1年以上の賞味期限の食品は、こちらの多目的室Aへ入れてください。 アレルギー用のものは、隣の多目的室Bへお願いします。</p> <p>賞味期限に合わせて場所を最初から確保しておきます 教室内の仕切りについてもCが指示します 搬入終了後、食料班の皆が食料班の場所へ戻ってきました</p>
食料班員 C 食料班リーダー	<p>リーダー、食料の受入が終わりました。 お疲れ様でした。次の食事の配給計画を立てましょう ★シミュレーション終了</p>

10 訓練ごとの振り返りシート

訓練 1 備蓄食糧の確認・配給計画

訓練 2 備蓄食糧の配給準備 会場設営

訓練 3 配給

訓練 4 食料調達

訓練 5 食料搬入

11 資料編

埼玉県地域防災計画資料編から一部引用

- 1 施設の開放から運営組織の設置、活動班での活動までの流れ
- 2 避難所生活で配慮すること
- 3 各活動班の役割
 - ①総務班 ②情報班 ③食料・物資班 ④施設管理班 ⑤保健・衛生班
 - ⑥ボランティア班
- 4 埼玉県食料班サポートゲーム（埼玉 SSS）を開発しました

1 施設の開放から運営組織の設置、活動班での活動までの流れ

1 施設の開放



2 初期の対応
ア 施設の点検
イ 居住組の編成
ウ 部屋割り
エ 避難者名簿の作成
オ 避難所開設の報告



3 運営組織の設置
会長・副会長
活動班の班長
居住組の組長



4 運営会議の開催
要領の作成
会議の運営
決定事項の処理

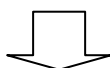


5 活動班の編成
①総務班 ②情報班
③食料・物資班
④施設管理班 ⑤保健・衛生班
⑥ボランティア班

避難所の開設までは、市町村職員または施設管理者が行い、本格的な避難所運営は、避難者自身による自主組織を中心としています。



活動班の班員は、各居住組の組長から推薦を受けて、会長が指名する。女性に配慮した避難所運営を行うため、運営組織には、複数の女性を参加させる。



6 食料・物資班の活動開始
食料・物資の調達
食料・物資の受入
食料・物資の管理・配給

2 避難所生活で配慮すること

(1) プライバシーの配慮

(2) 災害時要援護者への配慮

- ・ 高齢者、障害者、その他生活に特別な配慮を必要とする避難者には、一人ひとりの心身の状態に応じた生活が出来るように配慮する。
- ・ 視聴覚障害者や移動が困難な高齢者には、音声による情報提供を行う。
- ・ 固形食の摂取が困難な高齢者や障害者の食料に配慮する。
- ・ 高齢者や障害者用に専用の洋式トイレを用意する。

(3) 女性への配慮

- ・ 専用のトイレ、着替えや授乳場所を確保する。
- ・ 女性専用の相談窓口を設置する。

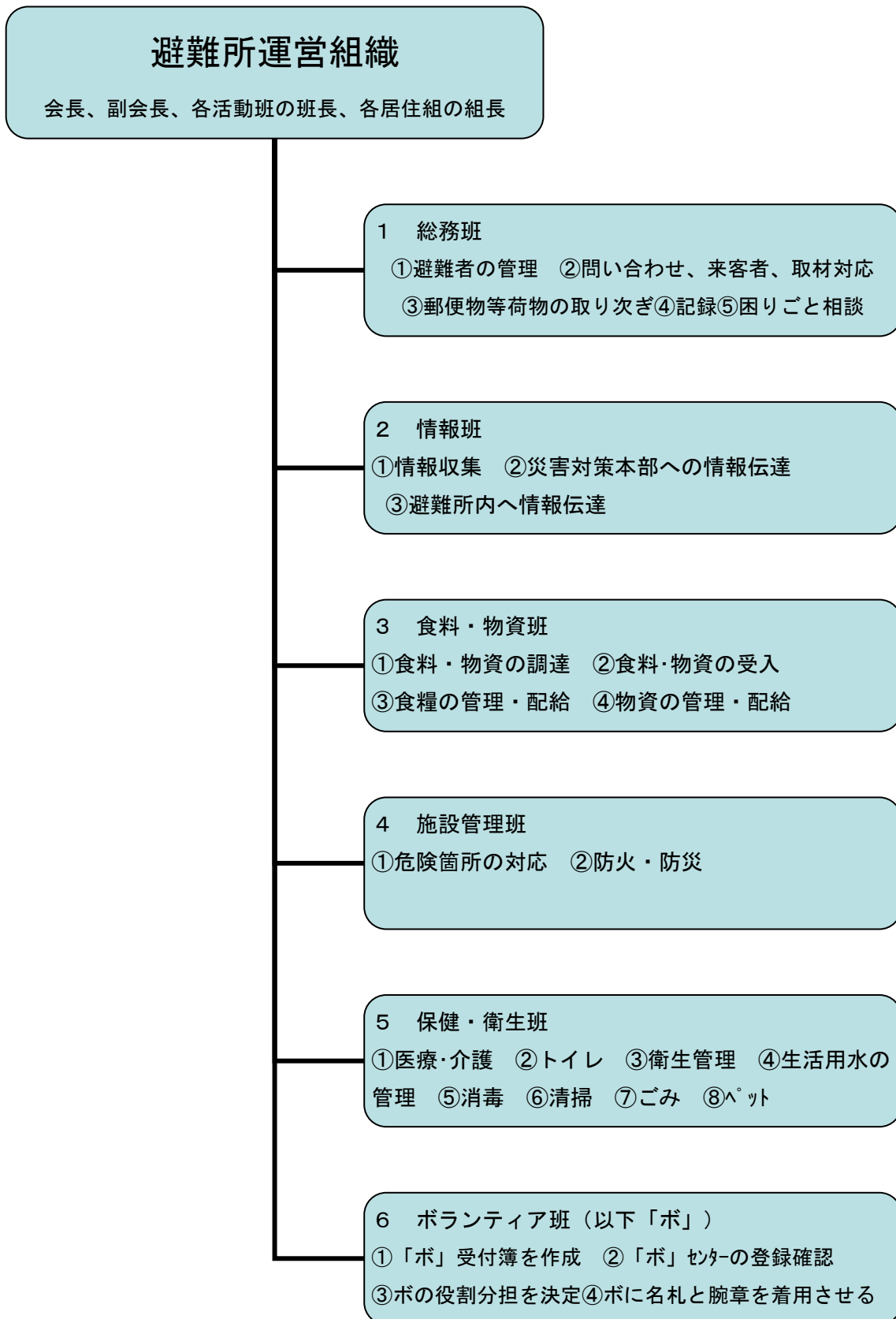
(4) 外国人への配慮

- ・ 外国人には、使用する言語や生活習慣等に配慮する。
- ・ 日本語の放送に合わせ、外国語の放送にも努める。
- ・ 掲示板への記載及び案内表示については、外国語表記のものを用意する。
- ・ 相談窓口に、通訳を配置するよう努める。
- ・ 資料は、外国語も資料も用意する。

(参考) 生活ルールの周知→「避難所生活の心得」等があるとよい。

3 避難所運営組織の概要 <各活動班の役割>

注意！ 避難所の運営は、避難者自身による自主組織を中心としています。



さいたまけんしよくりょうはんさぼーとげーむ さいたますりえす かいほつ
4 埼玉県食料班サポートゲーム（埼玉SSS）を開発しました！

埼玉県食料班サポートゲーム（S：埼玉県 S：食料班 S：サポートゲーム）の進め方
～どのようにしたら、適切に食料配給ができるのか～

1 はじめに

「避難所に行けば、誰かが食事を配ってくれる」と思っていませんか。実際には、避難者自身が食料を受入、配給することが求められます。このゲームは、ある市町村の避難所（小学校）が舞台となります。プレイヤーは、避難者の自主組織で構成される食料班員となって、適切な食料配給のためにはどのような配慮が必要なのか模擬体験します。体験後、平常時にどのような環境整備が必要なのか一緒に考えましょう。



実施している様子

2 ゲームの内容

進行役1名、プレイヤー5～6名とします。進行役の朗読に続き、プレイヤーは、自分のこまを行動に合わせて動かしながら、シナリオのセリフを読み上げます。食料の受入から配給までの、5つの場面について、役になりきって行動を検証します。1つの場面終了ごとに、進行役の指示に従って振り返りを行います



構内図プレイヤーこま

3 ゲームのポイント

プレイヤーの役割には、避難所自主組織で構成される総務班、食料班、ボランティア班員などが登場します。

より現実に近づけるため、避難所想定的小学校構内図などは、参加者の身近な校舎を想定し、訓練することもよいでしょう。

プレイヤーは、与えられた登場人物のセリフを、あまり考えずに言ってみましょう。

ゲーム終了後、活動内容や、動線、必要な物品などについて話し合い、食料配給を中心としたより円滑な避難所運営について検証します。



班ごとに色分けされたこま

ゲーム参加者から、こんな声が聞かれました！



他の職員や市民の方を交えて、今後は避難所訓練を行って行けたら良いと思う。ロールプレイングは、とても有意義でした。いざという時にいかせると思う。

埼玉県のマスコット「コバト」



マニュアル作成の必要性を感じた。



今回のゲームは、防災訓練等で実践的な取組ができるように、発展していければ良いと思います。



専門職としてどう係わるか、もっと理解を深めたいと思う

ゲーム開始に当たり準備するもの

- 1 会議机とイス、掲示板
 - ・ 1グループ当たり、会議机3脚と、人数分のイスを用意します。
 - ・ 1グループは、5～6名のプレイヤーで行います。
- 2 シナリオ
 - ・ 予め用意したシナリオを、人数分用意します。
- 3 構内図、プレイヤーこま
 - ・ 模造紙に書かれた構内図と、プレイヤーこまを用意します。

図上訓練シナリオ

～埼玉県食料班サポートゲーム（埼玉 SSS）～

<発行> 平成 25 年 1 月
埼玉県鴻巣保健所 保健予防推進担当
〒365-0039 埼玉県鴻巣市東 4-5-10
電話 048-541-0249 FAX048-541-5020